

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	初級日本語ⅠA	前期	火2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-我那覇 隆史 (木)-仲松 貴子	1年	syo@okiu.ac.jp 研究室5440	

学びの準備	ねらい 教科書各課の文型の意味や構造を理解し、実生活において運用できるように練習する。『みんなの日本語 初級Ⅰ』で学んだ基本的な日本語文法、語彙をさらに拡充し、物事について説明したり、話者の気持ちを細やかに伝えたりする表現を用いて、コミュニケーションがとれるようにする。	メッセージ 初級レベルの日本語の総まとめに入っていきます。定着をはかり応用できるようにしていきます。
	到達目標 『みんなの日本語Ⅱ』の教科書を中心に、初級レベルの文法項目の基礎を身につける。そして、適切な場面で、適切な人間関係が築けるよう、その効果を理解しながら使えるようになる。それと同時に、語彙力をさらに拡充し、表現力、談話力、コミュニケーション力を身につけていく。最終的に、日本語能力試験（JLPT）を受験するという明確な目標を持つことで、更に実力をしっかりとつけていく。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(火) 復習・春休みのこと	春休みのことを作文にする
	2	(木) 43課 練習A・B・C、42課の文法クイズ、43課の単語クイズ	43課のプリント
	3	(火) 34課～42課 復習	34課～42課の復習
	4	(木) 44課 練習A・B・C、43課の文法クイズ、44課の単語クイズ	44課のプリント
	5	(火) 45課 練習A・B・C、44課の文法クイズ、45課の単語クイズ	45課のプリント
	6	(木) 復習K	復習
	7	(火) 46課 練習A・B・C、会話、課末問題	46課のプリント
	8	(木) 47課 練習A・B・C、会話、課末問題	47課のプリント
	9	(火) 48課 練習A・B・C、会話、課末問題	48課のプリント
	10	(木) 49課 練習A・B・C、会話、課末問題	49課のプリント
	11	(火) 50課 練習A・B・C、49課の文法クイズ、50課の単語クイズ	復習
	12	(木) 50課 練習A・B・C、会話、課末問題	50課のプリント、テストの勉強
	13	(火) 43課～50課のテスト	語彙1の予習
	14	(木) 日本語作文・語彙1	会話1の予習
	15	(火) 日本語会話・聴解1	語彙2の予習
	16	(木) 日本語作文・語彙2	会話2の予習
	17	(火) 日本語会話・聴解2	語彙3の予習
	18	(木) 日本語作文・語彙3	会話3の予習
	19	(火) 日本語会話・聴解3	語彙4の予習
	20	(木) 日本語作文・語彙4	会話4の予習
	21	(火) 日本語会話・聴解4	語彙5の予習
	22	(木) 日本語作文・語彙5	会話5の予習
	23	(火) 日本語会話・聴解5	語彙6の予習
	24	(木) 日本語作文・語彙6	会話6の予習
	25	(火) 日本語会話・聴解6	語彙7の予習
	26	(木) 日本語作文・語彙7	会話7の予習
	27	(火) 日本語会話・聴解7	語彙8の予習
	28	(木) 日本語作文・語彙8	会話8の予習
	29	(火) 日本語会話・聴解8	総復習
30	(木) 日本語作文・語彙まとめ	総復習	
31	(火) 日本語会話・聴解まとめ	総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』本冊 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』翻訳・文法解説フランス語版 スリーエーネットワーク 『日本語能力試験 対策 日本語総まとめ N3 (漢字・語彙・文法・読解・聴解)』ASK 適宜指示します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業で、文法クイズや語彙クイズを実施し、文法項目や語彙の理解度の確認を行います。予習・復習は欠かさずやってみましょう。 ・自国語で書かれている翻訳・文法解説書をしっかりと読んで理解して、授業に臨んでください。 ・学んだことを、教室外で使用する機会を多用し、定着をはかってください。 ・毎回出席して、授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席をする場合は、必ず連絡してください。
	<p>評価</p> <p>総合的に評価します。 授業参加度・発表など (30%)、クイズ (20%)、テスト (30%)、宿題 (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>『会話・聴解』『読解』『作文・語彙』『文法』等、技能別の授業で、各技能の力を細かく磨いていってください。それと同時に、漢字の力をつけていくために、補講クラスも設けますので、是非、参加してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	初級日本語 I B	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)奥山貴之・(金)-知念啓子	1年	講義終了時に受け付ける	

学びの準備	ねらい 教科書各課の文型の意味や構造を理解し、実生活において運用できるように練習します。『みんなの日本語 初級 I』で学んだ基本的な日本語文法、語彙をさらに拡充し、物事について説明したり、話者の気持ちを細やかに伝えたりする表現を用いて、円滑なコミュニケーションができるようにします。	メッセージ 初級レベル日本語の総まとめに入っていきます。定着を計り応用ができるようにしていきます。
	到達目標 ・ 『みんなの日本語II』を中心に、初級レベルの文法項目の基盤を身につけ、適切な場面で、適切な人間関係が築けるよう、その効果を理解しながら使えるようになる。 ・ それと同時に、語彙力を更に拡充し、表現力、談話力、コミュニケーション力を総体的に身につけていく。 ・ そして、日本語能力試験を受験するという明確な目標を持つことで、更に力をつけていく。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(水) L42 2, 3, 会話、課末問題	42課のプリント
	2	(金) L43 3, 会話、課末問題	43課のプリント
	3	(水) 34課～42課 まとめのテスト	予習と復習
	4	(金) L44 4, 5 会話、課末問題	44課のプリント
	5	(水) L45 2, 会話、課末問題	45課のプリント
	6	(金) L46 1, 2	予習と復習
	7	(水) L47 1	予習と復習
	8	(金) L48 1～5	予習と復習
	9	(水) L48 6, 会話、課末問題	48課のプリント
	10	(金) L49 4, 5, 6 会話、課末問題	49課のプリント
	11	(水) L50 3, 4, 5 会話、課末問題	予習と復習
	12	(金) 50課 文法 クイズ 43課～50課の復習(J/K)	予習と復習
	13	(水) 日本語読解 1	予習と復習
	14	(金) 日本語文法 1	予習と復習
	15	(水) 日本語読解 2	予習と復習
	16	(金) 日本語文法 2	予習と復習
	17	(水) 日本語読解 3	予習と復習
	18	(金) 日本語文法 3	予習と復習
	19	(水) 日本語読解 4	予習と復習
	20	(金) 日本語文法 4	予習と復習
	21	(水) 日本語読解 5	予習と復習
	22	(金) 日本語文法 5	予習と復習
	23	(水) 日本語読解 6	予習と復習
	24	(金) 日本語文法 6	予習と復習
	25	(水) 日本語読解 7	予習と復習
	26	(金) 日本語文法 7	予習と復習
	27	(水) 日本語読解 8	予習と復習
	28	(金) 日本語文法 8	予習と復習
	29	(水) 日本語読解 9	予習と復習
30	(金) 日本語文法 9	予習と復習	
31	(水) 総まとめ	予習と復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『みんなの日本語 初級Ⅱ』本冊 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語 初級Ⅱ』翻訳・文法解説フランス語版 スリーエーネットワーク 『日本語能力試験 対策 日本語総まとめ N3 (漢字・語彙・文法)』ASK 適宜指示する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の授業で、語彙クイズや文法クイズを実施し、文法項目や語彙の確認を行います。予習・復習は欠かさず行ってください。 ・ 自国語で書かれている文法解説書もしっかりと読んで理解して授業に臨んでください。 ・ 学んだことを、教室外で使用する機会を多用し、定着をはかってください。 ・ 毎回出席して授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席をする場合は必ず連絡をしてください。
	<p>評価</p> <p>授業参加度20% クイズ25% テスト35% 課題20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>『会話・聴解』『読解』『作文・語彙』『文法』等、技能別の授業で、各技能の力を細かく磨いていってください。それと同時に、漢字の力をつけていくために、補講クラスを設けますので、参加してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	初級日本語ⅡA	後期	火2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-我那覇 隆史 (木)-仲松 貴子	1年	syo@okiu.ac.jp 研究室5440	

学びの準備	ねらい 『みんなの日本語 初級Ⅰ』を中心に、基本的な日本語文法、語彙などを習得していく。そして、事物について説明したり、話者の気持ちを細やかに伝えたりする表現技術を磨き、効果的なコミュニケーションがとれるようにする。	メッセージ 日本語の学習をスタートさせて、まだ日が浅い学習者のためのクラスです。しっかりと日本語の基礎を固めていきましょう。
	到達目標 『みんなの日本語Ⅰ』の教科書を使用し、動詞・形容詞の活用の変化、ヴォイスやモダリティ等の文法項目の基礎を身につける。そして、適切な場面で、適切な人間関係が築けるよう、その効果を理解しながら使えるようになる。それと同時に、語彙力を拡充し、談話力、コミュニケーション力も身につけていく。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(火) 復習	1課～5課の復習
	2	(木) 復習	5課～10課の復習
	3	(火) 12課 練習A・B・C	11課～12課の復習
	4	(木) 13課 練習A・B・C、12課の文法クイズ	13課の復習
	5	(火) 14課 練習A・B・C、13課の文法クイズ	13課のプリント
	6	(木) 15課 練習A・B・C、14課の文法クイズ	14課のプリント
	7	(火) 16課 練習A・B・C、15課の文法クイズ	15課のプリント
	8	(木) 17課 練習A・B・C、16課の文法クイズ	16課のプリント
	9	(火) 18課 練習A・B・C、17課の文法クイズ	17課のプリント
	10	(木) 19課 練習A・B・C、18課の文法クイズ	18課と19課のプリント
	11	(火) 9課～17課 まとめのテスト	9課～17課の復習
	12	(木) 20課 練習A・B・C、会話、課末問題	20課のプリント
	13	(火) 21課 練習A・B・C、会話、課末問題	21課のプリント
	14	(木) 22課 練習A・B・C、会話	22課のプリント
	15	(火) 23課 練習A・B・C	23課のプリント
	16	(木) 24課 練習A・B・C、23課の文法クイズ	24課のプリント
	17	(火) 25課 練習A・B・C、24課の文法クイズ、25課の単語クイズ	25課のプリント
	18	(木) 25課文法クイズ、復習G、総復習	25課までの復習
	19	(火) 26課 練習A・B・C、26課の単語クイズ	26課のプリント
	20	(木) 27課 練習A・B・C、26課の文法クイズ、27課の単語クイズ	27課のプリント
	21	(火) 28課 練習A・B・C、27課の文法クイズ、28課の単語クイズ	28課のプリント
	22	(木) 29課 練習A・B・C、28課の文法クイズ、29課の単語クイズ	29課のプリント
	23	(火) 30課 練習A・B・C、29課の文法クイズ、30課の単語クイズ	30課のプリント
	24	(木) 30課の課末問題、復習H (26課～30課の復習)	30課までの復習
	25	(火) 日本事情・日本文化(書き初め)	書きたい漢字を考える
	26	(木) 31課 練習A・B・C、会話、課末問題	31課プリント(宿題)
	27	(火) 32課 練習A・B・C、会話、課末問題	32課プリント(宿題)
	28	(木) 33課 練習A・B・C、会話、課末問題	33課プリント(宿題)
	29	(火) 26課～33課のテスト	テストの振り返り
30	(木) 34課 練習A・B・C、会話、課末問題	34課のプリント	
31	(火) 35課 練習A・B・C、会話、課末問題	35課のプリント	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『みんなの日本語 初級Ⅰ第2版』本冊 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語 初級Ⅰ第2版』翻訳・文法解説 スリーエーネットワーク 適宜指示します。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業で、文法クイズや語彙クイズを実施し、文法項目や語彙の理解度の確認を行います。予習・復習は欠かさずやってきましょう。 ・自国語で書かれている翻訳・文法解説書をしっかりと読んで理解して、授業に臨んでください。 ・学んだことを、教室外で使用する機会を多用し、定着をはかってください。 ・毎回出席して、授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席をする場合は、必ず連絡してください。
	<p>評価</p> <p>総合的に評価します。 授業参加度・発表など (30%)、クイズ (20%)、テスト (30%)、宿題 (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次は、『みんなの日本語Ⅱ』に進みます。そして、徐々に、日本語能力試験（JLPT）の受験の準備も行っていきます。また、漢字の力、そして、読む力を付けて行くために、補講クラスを設けますので、是非、参加してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	初級日本語ⅡB	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)奥山貴之・(金)知念啓子	1年	講義終了時に受け付ける	

学びの準備	ねらい 『みんなの日本語 初級Ⅰ』を中心に、基本的な日本語文法、語彙などを習得していく。そして、事物について説明したり、話者の気持ちを細やかに伝えたりする表現技術を磨き、効果的なコミュニケーションがとれるようにする。	メッセージ 日本語の学習を始めて、まだ日が浅い学習者のための授業です。しっかりと日本語の基礎を固めていきましょう。
	到達目標 ・『みんなの日本語Ⅰ』を中心に、動詞・形容詞の活用変化、ヴォイスやモダリティ等の文法項目の基盤を身につけ、適切な場面で、適切な人間関係が築けるよう、その効果を理解しながら使えるようになる。 ・それと同時に、語彙力を拡充し、談話力、コミュニケーション力を身につけていく。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(水) オリエンテーション、復習・確認	予習と復習
	2	(金) 副詞・接続詞・会話表現のまとめⅠ	予習と復習
	3	(水) L12. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集12課
	4	(金) L13. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集13課
	5	(水) L14. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集14課
	6	(金) L15. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集15課
	7	(水) L16. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集16課
	8	(金) L17. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集17課
	9	(水) L18. 文型練習帳・標準問題集他	標準問題集18課
	10	(金) L19文型練習帳・標準問題集他	標準問題集19課
	11	(水) L20文型練習帳・標準問題集他	予習と復習
	12	(金) L21文型練習帳・標準問題集他	予習と復習
	13	(水) L22文型練習帳・標準問題集他	予習と復習
	14	(金) L22 課末問題、復習	予習と復習
	15	(水) L23 4. 会話、課末問題	23課プリント
	16	(金) L24 3, 4, 5, 会話、課末問題	24課プリント
	17	(水) L25 4. 会話、課末問題	25課プリント
	18	(金) 18課から25課 テスト	予習と復習
	19	(水) L26 5, 6, 会話、課末問題	26課プリント
	20	(金) L27 5, 6, 会話、課末問題	予習と復習
	21	(水) L28 3, 4, 5, 会話、課末問題	予習と復習
	22	(金) L29 3, 4, 会話、課末問題	予習と復習
	23	(水) L30 3, 4, 5, 会話	30課プリント
	24	(金) 総まとめ	予習と復習
	25	(水) L31 1, 2, 3	予習と復習
	26	(金) L32 1, 2	予習と復習
	27	(水) L33 1, 2, 3	予習と復習
	28	(金) 26課～33課の復習	予習と復習
	29	(水) L34 1.2	予習と復習
30	(金) L35 1.2.3	予習と復習	
31	(水) 35課の課末問題、復習Ⅰ, まとめⅠ	予習と復習	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『みんなの日本語 初級 I』 本冊 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語 初級 I』 翻訳・文法解説フランス語版 スリーエーネットワーク 適宜指示する。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の授業で、語彙クイズや文法クイズを実施し、文法項目や語彙の確認を行います。予習・復習は欠かさず行ってください。 ・ 自国語で書かれている文法解説書もしっかりと読んで理解して授業に臨んでください。 ・ 学んだことを、教室外で使用する機会を多用し、定着をはかってください。 ・ 毎回出席して授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席をする場合は必ず連絡をしてください。
	<p>評価</p> <p>授業参加度20% クイズ25% テスト35% 課題20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次は『みんなの日本語II』に進みます。そして、徐々に、日本語能力試験受験の準備も行ってきます。また、漢字の力、そして、読む力をつけていくために、補講クラスを設けますので、参加してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	総合日本語 I A	前期	火1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-知念 啓子・(木)-元山 由美子	1年	授業終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>火)①日常的なテーマに関し、自身の経験・感情・思考を日本語で表現することができる。②沖縄と生まれ育ったところを比較し、自己理解・他者理解・相互理解を深めることができる。</p> <p>木)初級日本語で学んだ文型・表現を基本にさらに語彙・表現を増やす。読解の学習の中心となる中級以降の学習にもスムーズに入っていくことができる。</p>	<p>火)「沖縄」「生まれ育ったところ」「世界」について履修生と一緒に学び考え、日本語で表現しましょう。</p> <p>木)楽しみながら「読み物」を読みます。本文の内容を正しく理解し、身近な話題について話し合い、お互いに学びあえるように、進んで授業に参加しましょう。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなタイプの読み物(昔話、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフ、俳句など)を読むことができる。 ・読み物の内容を理解することはもちろん、内容に対する自分の意見や感じたことなどを述べたり、書いたりすることができる。 ・沖縄の過去・現在について学び、日本語で自らの問いを増やし、より深く考えることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特)火①ガイダンス、沖縄の気候	シラバスを読む
	2	(特)火②沖縄の地理	復習、練習問題
	3	(特)火③沖縄の動物	復習、練習問題
	4	(特)火④沖縄の観光1	復習、練習問題
	5	(特)火⑤沖縄の観光2	復習、練習問題
	6	(特)火⑥沖縄の祭りと年中行事1	復習、練習問題
	7	(特)火⑦沖縄の祭りと年中行事2	復習、練習問題
	8	(特)火⑧沖縄の気候	復習、練習問題
	9	(特)火⑨ウチナーグチ1	復習、練習問題
	10	(特)火⑩ウチナーグチ2	復習：練習問題、テーマ探し
	11	(特)火⑪沖縄の食文化 学生によるテーマ提供から意見交換・議論をする	意見・感想を日本語でまとめる
	12	(特)火⑫沖縄の植物 学生によるテーマ提供から意見交換・議論をする	テーマ探し
	13	(特)火⑬沖縄の社会 学生によるテーマ提供から意見交換・議論をする	意見・感想を日本語でまとめる
	14	(特)火⑭沖縄の芸能 学生によるテーマ提供から意見交換・議論をする	テーマ探し
	15	(特)火⑮沖縄事情：空手と古武道 学生によるテーマ提供から意見交換・議論をする	意見・感想を日本語でまとめる
	16	(特)木①日本を知る「東京」	シラバスをよく読むこと
	17	(特)木②第26課 「宇宙ステーションの生活はどうですか」	語彙を調べておくこと
	18	(特)木③第28課「昼ごはんはどこで?何を?」、第29課「私の失敗」第30課	語彙を調べておくこと
	19	(特)木④第32課「桜とお花見」	語彙を調べておくこと
	20	(特)木⑤日本を知る「日本の行事」	語彙を調べておくこと
	21	(特)木⑥第33課「大声大会」、第34課「あなたの国では?」	語彙を調べておくこと
	22	(特)木⑦第37課「55年かかってゴールインした日本人選手」	語彙を調べておくこと
	23	(特)木⑧第39課「万次郎」	語彙を調べておくこと
	24	(特)木⑨第41課「ロボットといっしょ」、第42課「肉を食べると」	語彙を調べておくこと
	25	(特)木⑩第43課「お元気ですか」、第44課「カレー」	語彙を調べておくこと
	26	(特)木⑪第45課「119番に電話をかける」、第46課「いとこの長靴」「俳句」	語彙を調べておくこと
	27	(特)木⑫第47課「空飛ぶ自動車」、第48課「竹取物語」	語彙を調べておくこと、昔話の紹介
	28	(特)木⑬第49課「人生」、第50課「紫式部に聞く」	語彙を調べておくこと
	29	(特)木⑭日本の伝統文化	調べて、発表する
	30	(特)木⑮日本を知る「地震」	語彙を調べておくこと
31	火⑯まとめ・振り返り、期末レポート提出木⑰期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火)参考テキスト：『おきなわ事情 Doorways to Okinawa』沖縄国際大学語学教育教材開発研究会</p> <p>木)テキスト：『みんなの日本語初級Ⅱ初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク 『読む力-CHIKARA for READING』国際交流基金</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>火) 普段の生活の中で疑問に思っていることについて問いをたて、積極的に話し合しましょう。</p> <p>木) 読み物のトピックに関連した情報を調べておくと理解が深まり、幅広く学習ができます。</p>
	<p>評価</p> <p>火) 1. 授業参加度 (30%) 2. 提出物 (30%) 3. 発表(20%) 4. テスト(20%)</p> <p>木) 1. ほぼ毎回語彙クイズを行う (20%) 2. 予習・復習、授業中の取り組み (20%) 3. 提出 (20%) 4. 発表 (20%) 5. 期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>自国の歴史や文化などを日本語で説明できるようになることで、日本語の能力を高めます。</p>

※ポリシーとの関連性 この授業では、主に会話(火曜日)と読解(木曜日)を学びながら、日本語をバランスよく習得することを目標とする。

[外国人日本語初級/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	総合日本語ⅡA	後期	火1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-知念 啓子・(木)-元山 由美子	1年	授業終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい 火)初級の語彙や文型を使い、自分の伝えたいことを日本語で表現することができる。 木)「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わうことを目指す。 また、「読む」練習を始めれば、読解の学習が中心となる中級以降の学習にもスムーズに入っていくことができる。	メッセージ 火)日ごろから、自分の伝えたいことを日本語で考え、話していきましょう。 木)楽しみながら「読み物」を読みます。身近な話題について話したり聞いたりしてお互いに学びあいましょう。 また、日本人と積極的にコミュニケーションをしましょう。
	到達目標 ・初級の語彙や文型を用いて自分の表現したいことを伝え、また相手の伝えたいことも理解できるようになる。 ・さまざまなタイプの読み物(お知らせ、手紙文、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなど)を読むことができる。 ・読み物の内容を理解することはもちろん、内容に対する自分の意見や感じたことなどを述べたり、書いたりすることができる。 ・日本と沖縄の生活習慣、文化を理解できるようになる。 ・日常生活に必要な会話ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	火①ガイダンス 自己紹介	シラバスを読む
	2	火②わたしの好きなもの	復習、振り返り
	3	火③わたしの好きなもの	復習、振り返り
	4	火④わたしの生まれたところ、育ったところ	復習、振り返り
	5	火⑤わたしの生まれたところ、育ったところ	復習、振り返り
	6	火⑥わたしのルール	復習、振り返り
	7	火⑦わたしのルール	復習、振り返り
	8	火⑧わたしのへや	復習、振り返り
	9	火⑨わたしのへや、わたしのすみたいへや	復習、振り返り
	10	火⑩わたしのすみたいへや	今までの復習
	11	火⑪テストと振り返り	復習、振り返り
	12	火⑫わたしの〇〇〇	復習、振り返り
	13	火⑬わたしの〇〇〇	復習、振り返り
	14	火⑭わたしの〇〇〇	復習、振り返り
	15	火⑮今までの振り返り	復習、振り返り
	16	木①ガイダンス、自己紹介	シラバスをよく読むこと
	17	木②ウォーミングアップ2「ジュースをお願いします」、3「神戸までいくらですか」	語彙を調べておくこと
	18	木③第6課「お花見」、第7課「もらいました・あげました」	語彙を調べておくこと
	19	木④第8課「町的生活・山的生活」、第9課「日本が好きです」	語彙を調べておくこと
	20	木⑤第10課「美術館」、第11課「お祭り」	語彙を調べておくこと
	21	木⑥第12課「沖縄旅行」、第13課「宝くじ」	語彙を調べておくこと
	22	木⑦第14課「ビデオレター」、第15課「高校」	語彙を調べておくこと
	23	木⑧日本を知る「日本の地理」	語彙を調べておくこと
	24	木⑨中間テスト	語彙を調べておくこと
	25	木⑩第16課「想像の動物」、第17課「江戸時代」	語彙を調べておくこと
	26	木⑪第18課「個人旅行?団体旅行?」第19課「相撲」	語彙を調べておくこと
	27	木⑫第20課「伊能忠敬の一生」、復習	語彙を調べておくこと
	28	木⑬第21課「雨降って、地固まる」、第22課「テレビ放送」	語彙を調べておくこと
	29	木⑭第23課「コーヒーを飲むと」、第24課「日本語をお願いします」	語彙を調べておくこと
30	木⑮第25課「将来は…」、第31課「1月1日」	語彙を調べておくこと	
31	火⑯期末テスト、木⑰期末テスト	テスト準備、授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火)作成プリント</p> <p>木)テキスト：『みんなの日本語初級 I トピックで読める25』スリーエーネットワーク</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語でやりとりする機会を積極的に多くつくりましょう。 ・予習・復習をしっかりやりましょう。 ・本文を声に出して読みましょう。
	<p>評価</p> <p>火) 1. 授業参加度 (30%) 2. 提出物 (30%) 3. 期末テスト(20%) 4. 中間テスト(20%)</p> <p>木) 1. ほぼ毎回語彙クイズを行う (20%) 2. 予習・復習、授業中の取り組み (20%) 3. 提出物 (20%) 4. 中間テスト (20%) 5. 期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>火)日々の生活の中での疑問を書き出しておきましょう。</p> <p>木)スムーズに読めるように声に出して読む練習をしましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語会話／聴解 I	前期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-川野 さちよ・(木)奥山貴之	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義は、日本語中級レベルおよび中上級の留学生を対象に、日本語聴解力や日本語会話力、敬語を使いこなす力をつけることを目標としています。火曜日のクラスでは「敬語力、会話力」を、木曜日のクラスでは「聞く力、話す力」をつけることを目標にします。留学生生活を送る上で、日本語で情報を理解したり、発信したりできるように練習をします。	日本語を使ってコミュニケーションを取れるよう、クラスで日本語をたくさん話します。級友との会話も日本語ですという強い意志を持って授業に参加してください。日本人学生が授業見学に来ることがあります。会話力向上のため、会話パートナーとして活躍してくれる予定なので、日本語をなるべくたくさん話すように心掛けましょう。

到達目標	1. 各課のテーマに使える言葉、構文を使って会話ができる 2. 日本語で質問したり答えたりできる 3. 各課のテーマにそった日本語の会話を聞いて、内容が理解できる 4. 学んだ日本語を使って、情報を集めることができる 5. 習った構文、ことばを使って正しい文法で短文が書ける 6. 日本語を使ってタスクができる 7. 日本語を使って自分の意見を発表することができる
------	--

学びのヒント	授業計画
--------	------

回	テーマ	時間外学習の内容
1	火1. 授業の進め方 級友について知る、日本語力判定	シラバスと予定表配布
2	火2. 敬語はどんな時に使うのか 敬語の基本	宿題シート（訪問）
3	火3. 1課 訪問する	宿題シート（挨拶）
4	火4. 2課 簡単に挨拶	宿題シート（誘う）
5	火5. 3課 誘う	宿題シート（断る）
6	火6. 4課 断る	宿題シート（お願い）
7	火7. 5課 お願いする	宿題シート（意見）
8	火8. 6課 反対の意見、批判的な意見をいう	脚本を読んでくる
9	火9. 日本語劇(1) 配役 内容理解 読み合わせ	せりふの練習、暗記
10	火10. 日本語劇(2) 立ち稽古 衣裳、小道具準備	動きを考えてくる
11	火11. 日本語劇(3) 発表にむけてのリハーサル	劇練習
12	火12. 日本語劇(4) 発表	宿題シート（申し出）
13	火13. 7課 申し出る	宿題シート（おわび）
14	火14. 8課 おわびする	宿題シート（予約）
15	火15. 9課 予約を受ける	期末テストに向けて復習
16	木①ガイダンス、以下Aの1課「自己紹介」（自分をアピールする）	シラバス、受講の注意プリント配布
17	木②2課「料理の仕方」（手順の説明）	毎週：予習（言葉の意味を調べる）
18	木③9課「財布をなくして説明」（物の形や状況）	毎週：復習（新しい表現を使う）
19	木④11課「電話でアルバイトに応募」（問い合わせる）	意味を調べる、新しい表現を使う
20	木⑤19課「提案、相談」	意味を調べる、新しい表現を使う
21	木⑥以下Bの1「出会い」名のる、人を紹介する	意味を調べる、新しい表現を使う
22	木⑦2「ホテルで」前置き（謝罪・依頼の）、許可を求める、確認する	意味を調べる、新しい表現を使う
23	木⑧3「うわさ」伝える、聞く、聞いた情報に反応する	意味を調べる、新しい表現を使う
24	木⑨4「機械のトラブル」能力について、（機械の修理などを）申し出る	意味を調べる、新しい表現を使う
25	木⑩5「失敗」自分の失敗を伝える、不安・心配を伝える	意味を調べる、新しい表現を使う
26	木⑪6「電話をかける」用件を伝える、伝言をする	意味を調べる、新しい表現を使う
27	木⑫7「健康のために」病気・体調についての表現、助言をする・求める	意味を調べる、新しい表現を使う
28	木⑬8「駅で」トラブルを表現する、情報の確認・発信	意味を調べる、新しい表現を使う
29	木⑭9「趣味」誘う、興味を示す、断る	意味を調べる、新しい表現を使う
30	木⑮10「抱負」夢・決意を話す、相手を励ます・応援する	期末にむけて復習
31	期末テスト	筆記とリスニング

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火曜日：『新にほんご敬語トレーニング』金子広幸 アスク 自主作成教材（クラスで配布します） 木曜日：A「会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ」B「聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編」</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>新出語彙や構文の意味を辞書や文法書で調べてから授業に出るようにしてください。教室では日本語を話す練習が多くできるようにしましょう。ペア練習や日本人学生との会話練習など、積極的に行い、日本語でコミュニケーションをとれる喜びを味わいましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（30%） 課題 宿題（30%） 期末テスト（40%） 欠席が各曜日5回以上の場合成績は不可となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業で日本語の会話力、聴解力を身につけ、学部生となった時に日本人学生と一緒に学び、互いの意見を交換するなど共に学ぶことを楽しめるようにします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語会話/聴解Ⅱ	後期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-川野 さちよ・(木)奥山貴之	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義では、日本語中級レベルおよび中上級レベルの留学生を対象に、火曜日のクラスでは「敬語を話す力」を、木曜日のクラスでは「聞く力と話す力」をつけることを目標に進めます。各テーマに沿って、よく使う言葉、大切な言い回しを覚えます。ペアやグループで会話練習をし、独自の会話作りをして発表します。	日本語を使ってコミュニケーションを取れるよう、クラスで日本語をたくさん話します。級友との会話も日本語ですという強い意志を持って授業に参加してください。日本人学生が授業見学に来ることがあります。会話力向上のため、会話パートナーとして活躍してくれる予定なので、日本語をなるべくたくさん話すように心掛けましょう。
到達目標	1. 各課のテーマに使える言葉、構文を使って会話ができる 2. 日本語で質問したり答えたりできる 3. 各課のテーマにそった日本語の会話を聞いて、内容が理解できる 4. 学んだ日本語を使って、情報を集めることができる 5. 習った構文、ことばを使って正しい文法で短文が書ける 6. 日本語を使ってタスクができる 7. 日本語を使って自分の意見を発表することができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	火1. 授業の進め方 級友大発見	シラバス配布
	2	火2. 自分の良さを知って作ろう自分の人生① 道具オークション	宿題 「〇〇の宝地図」シート
	3	火3. 自分の良さを知って作ろう自分の人生② 宝地図	人生でやりたいことを考えてくる
	4	火4. 自分の良さを知って作ろう自分の人生③ 人生設計	「自分の人生」発表の準備、練習
	5	火5. 自分の良さを知って作ろう自分の人生④ 発表会	宿題「面接準備」シート
	6	火6. 13課 面接を受ける	「スピーチシート」を記入
	7	火7. 12課 スピーチをする①	「写真 スピーチ」シートを記入
	8	火8. 12課 スピーチをする②	「賛成、反対」シートを記入
	9	火9. 8課 意見を言う① 賛成? 反対?	「賛成、反対議論」シートを記入
	10	火10. 8課 意見を言う② 議論してみよう	予約に使うことば 調べ
	11	火11. 9課 予約を受ける①	予約を受ける 会話作り
	12	火12. 9課 予約を受ける② 発表	「サービスの敬語」シート
	13	火13. 10課 サービスの敬語	「相談」シートを記入
	14	火14. 11課 相談を受ける	「総復習チェック」シートを記入
	15	火15. 総復習	期末テスト準備
	16	木①以下Aの5課「友達を慰める・励ます」	シラバス、受講の注意プリント配布
	17	木②21課「進学について教えてもらう」助言	毎週：予習（言葉の意味を調べる）
	18	木③8課「医者に症状を説明する」	毎週：復習（新しい表現を使う）
	19	木④12課「日にち変更の許可を求める」	17課 言葉の意味調べ
	20	木⑤17課「ごみの出し方を注意されて謝る」	22課 言葉の意味調べ
	21	木⑥22課「友達と意見を出し合う」反論	18課 言葉の意味調べ
	22	木⑦18課「交通事故の状況を説明する」	1課 言葉の意味調べ
	23	木⑧以下Bの1課「今、いないんですけど。」伝言/申し出	2課 言葉の意味調べ
	24	木⑨2課「一緒に行ってみない？」勧誘	3課 言葉の意味調べ
	25	木⑩3課「これ、使わせてもらってもいいかなって」許可	4課 言葉の意味調べ
	26	木⑪4課「渋滞してるらしいですよ。」確かな情報、不確かな情報	5課 言葉の意味調べ
	27	木⑫5課「そこをなんとか」依頼・指示	6課 言葉の意味調べ
	28	木⑬6課「予約しておいたはずなんですけど」文句、あやまる	7課 言葉の意味調べ
	29	木⑭7課「中華の方がいいんじゃない？」提案	8課 言葉の意味調べ
30	木⑮8課「給料は悪くないんだけどね」感想	期末テスト準備	
31	期末テスト	火：筆記 木：リスニング、筆記	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火曜日：『新にほんご敬語トレーニング』金子広幸 アスク 自主作成教材（クラスで配布します） 木曜日：A「会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ」B「聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編」</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>新出語彙や構文の意味を辞書や文法書で調べてから授業に出るようにしてください。教室では日本語を話す練習が多くできるようにしましょう。ペア練習や日本人学生との会話練習など、積極的に行い、日本語でコミュニケーションをとれる喜びを味わいましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（30%）課題 宿題（30%） 期末テスト（40%） 話す力をつけることが大切です。授業中に日本語で会話練習をどれだけ頑張ったか、ペア練習に熱心だったかなどを採点の基準をします。出席し日本語会話を練習することを重視しますので、全ての授業に出席してください。欠席が各曜日5回以上の場合は成績は不可となります。遅刻は3回で1回の欠席と計算します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>大学学部進学に向けて、日本語で面接を受け、自分の良さを日本語で伝えることができることを目標にしてほしい。日本語スピーチコンテストに参加し、意見や思いを日本語で話せるように日本語力をあげてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語作文 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)-元山 由美子・(金)-仲松 貴子	1年	ptt129@okiu.ac.jp takanaka3510@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で要求される基礎的作文力の養成を目標におき、原稿用紙の使い方、句読点の付け方、段落ごとのまとめ方など基礎的知識の確認をします。 ・テーマに沿って適切な文章が書けるようにします。 ・擬音語・擬態語を使って文章表現を豊かにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の文章を読む人の立場になって直せるようになると、文章が上手になります。 ・毎週作文を書く練習をします。大変ですが、頑張った分だけ力になります。
	到達目標	
	(水) 辞書を使って自分の考えを200字程度にまとめることができる。適切な語彙や表現を使って、読み手に伝わる文章が書けるようになる。	
	(金) テーマに沿って簡潔な文章が書けるようになる。擬音語・擬態語を理解し、文章の中にうまく取り入れ表現力を豊かにする。日本語の書き言葉のルールを知る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	水① 自己紹介	課題0 1 清書
	2	水② 私を表す漢字、語彙練習プリント	課題0 2 清書
	3	水③ 私のおすすめ、語彙練習プリント	課題0 3 清書
	4	水④ 留学の準備、語彙練習プリント	課題0 4 清書
	5	水⑤ 私の住んでいる町、語彙練習プリント	課題0 5 清書
	6	水⑥ 日本人に紹介したい私の国の素晴らしい所、語彙練習プリント	課題0 6 清書
	7	水⑦ 比較する、語彙練習プリント	課題0 7 清書
	8	水⑧ 比較して意見を述べる、語彙練習プリント	課題0 8 清書
	9	水⑨ 私の国の季節、語彙練習プリント	課題0 9 清書
	10	水⑩ メールを書く①、語彙練習プリント	課題1 0 清書
	11	水⑪ メールを書く②、語彙練習プリント	課題1 1 清書
	12	水⑫ 暑中見舞い、語彙練習プリント	課題1 2 清書
	13	水⑬ 買い物、語彙練習プリント	課題1 3 清書
	14	水⑭ 川柳(1)、語彙練習プリント	語彙の学習
	15	水⑮ 川柳(2)、川柳飾りつけ	語彙の学習
	16	金① 自己紹介、擬音語・擬態語 1	(清書) 自己紹介・オノマトペ 1
	17	金② 日常生活、擬音語・擬態語 2、第1課 助詞の使い方	(清書) 日常生活・オノマトペ 2
	18	金③ 好きなもの、擬音語・擬態語 3、第1課 助詞の使い方	(清書) 好きなもの・オノマトペ 3
	19	金④ 休みについて、擬音語・擬態語 4、第1課 助詞の使い方	(清書) 休み・オノマトペ 4
	20	金⑤ 食べ物、擬音語・擬態語 5、第2課 言葉の形の使い分け	(清書) 食べ物・オノマトペ 5
	21	金⑥ 環境、擬音語・擬態語 6、第2課 言葉の形の使い分け	(清書) 環境・オノマトペ 6
	22	金⑦ 携帯電話、擬音語・擬態語 7、第2課 言葉の形の使い分け	(清書) 携帯電話・オノマトペ 7
	23	金⑧ 俳句作成	(清書) 俳句
	24	金⑨ 俳句会、擬音語・擬態語 8	(清書) オノマトペ 8
	25	金⑩ 戦争と平和、擬音語・擬態語 9、第3課 自動詞・他動詞・受け身	(清書) 戦争と平和・オノマトペ 9
	26	金⑪ 進路、擬音語・擬態語 10、第3課 自動詞・他動詞・受け身	(清書) 進路・オノマトペ 10
	27	金⑫ 世界遺産、擬音語・擬態語 11、第3課 自動詞・他動詞・受け身	(清書) 世界遺産・オノマトペ 11
	28	金⑬ 国際交流、擬音語・擬態語 12	(清書) 国際交流・オノマトペ 12
	29	金⑭ 夏休みの計画、擬音語・擬態語 13	(清書) 夏休み・オノマトペ 13
30	金⑮ 振り返り、擬音語・擬態語 14	(清書) 降りけり・オノマトペ 14	
31	水⑯ 期末テスト 金⑰ 期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>(水) 『日本留学試験対策 記述問題テーマ100』凡人社、教師作成プリント (金) 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク、 『にほんご単語ドリル ぎおん語・ぎたい語』ASK</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業でさまざまなテーマについて作文を書きます。自国の習慣・文化等についても表現できるようにしておきましょう。学んだことを教室外で使用する機会を多用し、定着をはかりましょう。 ・毎回出席して授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず連絡してください。 ・辞書機能としてスマートフォンを使用してもいいですが、授業とは関係ない使用 (LINE、メール等) については厳しく規制します。
	<p>評価</p> <p>(水) 授業態度、課題の清書 (50%)、宿題 (30%) の提出、クイズ&期末試験 (20%) 等から総合的に行います。 (金) 毎週の作文の課題 (50%) と平常点30% (授業中の積極的な発言等)、 期末試験 (20%) で評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路を意識し、日本留学試験、日本語能力試験の受験準備も始め、漢字の力、文章作成能力もつけていきましょう。 ・毎日色々な所で色々な人に会ったり色々な経験をしてください。日本でしかできないことを最優先に行動すると良い留学生活が送れます。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語作文Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)-元山 由美子・(金)-仲松 貴子	1年	ptt129@okiu.ac.jp takanaka3510@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> ・進学に備えて、論理的な文の書き方をトピック教材で学習します。 ・さまざまなトピックを取り上げ、段落構成、賛成意見や反対意見の書き方、文章の要約の仕方等を学習していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の文章を読む人の立場になって直せるようになると、文章が上手になります。書くことの楽しさを味わいましょう。 ・毎週作文を書く練習をします。大変ですが頑張った分だけ力になります。漢字もたくさん使うようにしましょう。
	到達目標	
	(水) 辞書を使って自分の考えを200字程度にまとめることができる。適切な語彙や表現を使って、読み手に伝わる文章が書ける。	
	(金) さまざまな文章のスタイルが書けるようになる。漢字を使用し簡潔な文が書ける。擬音語・擬態語を使って表現の幅をグンと広げることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	水① 夏休みにしたこと、語彙練習プリント	課題0 1 清書
	2	水② 日本での食生活、語彙練習プリント	課題0 2 清書
	3	水③ 日本でびっくりしたこと、語彙練習プリント	課題0 3 清書
	4	水④ 日本の文化や社会について、語彙練習プリント	課題0 4 清書
	5	水⑤ グラフを読む、語彙練習プリント	課題0 5 清書
	6	水⑥ グラフを読んで意見を述べる、文字練習プリント	課題0 6 清書
	7	水⑦ 日本語スピーチコンテストのテーマ設定、語彙練習プリント	下書き
	8	水⑧ スピーチ原稿書き	清書
	9	水⑨ 私の国の教育、文字練習プリント	課題0 9 清書
	10	水⑩ メールを書く、語彙練習プリント	課題1 0 清書
	11	水⑪ 日本語スピーチコンテストを終えて、語彙練習プリント	課題1 1 清書
	12	水⑫ 年賀状、語彙練習プリント	課題1 2 清書
	13	水⑬ お正月、語彙練習プリント	課題1 3 清書
	14	水⑭ 沖縄の生活、語彙練習プリント	課題1 4 清書
	15	水⑮ 将来の計画、語彙練習プリント	課題1 5 清書
	16	金① 夏休みのこと、擬音語・擬態語15	(清書) 夏休み・オノマトペ15
	17	金② 後期の目標、擬音語・擬態語16、第4課 呼応	(清書) 後期の目標・オノマトペ16
	18	金③ 秋について、擬音語・擬態語17、第4課 呼応	(清書) 秋・オノマトペ17
	19	金④ ことわざ、擬音語・擬態語18、第4課 呼応	(清書) ことわざ・オノマトペ18
	20	金⑤ しりとり、擬音語・擬態語19、第5課 文末表現の調整	(清書) しりとり・オノマトペ19
	21	金⑥ 物語作成、擬音語・擬態語20、第5課 文末表現の調整	(清書) 物語・オノマトペ20
	22	金⑦ スピーチ原稿書き	下書き
	23	金⑧ スピーチ原稿書き	清書
	24	金⑨ 4コマ漫画	(清書) 4コマ漫画
	25	金⑩ 擬音語・擬態語21、第6課 ひらがなと漢字のバランス	(清書) オノマトペ21
	26	金⑪ 擬音語・擬態語22、第6課 ひらがなと漢字のバランス	(清書) オノマトペ22
	27	金⑫ 新年度の目標、擬音語・擬態語23、第7課 漢字の選択と誤変換	(清書) オノマトペ23
	28	金⑬ 占い、擬音語・擬態語24、第7課 漢字の選択と誤変換	(清書) オノマトペ24
	29	金⑭ キャッチコピー、擬音語・擬態語25	(清書) オノマトペ25
30	金⑮ 総まとめ、擬音語・擬態語26	(清書) オノマトペ26	
31	水⑯ 期末テスト 金⑰ 期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>(水) 『日本留学試験対策 記述問題テーマ100』凡人社、 『書くことを楽しむ 中級作文』凡人社、教師作成プリント</p> <p>(金) 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク、 『にほんご単語ドリル ギョク語・ぎたい語』ASK</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを教室外で使用する機会を多用し、定着をはかりましょう。 ・毎回出席して書く力をつけましょう。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず連絡してください。 ・辞書機能としてスマートフォンを使用してもいいですが、授業とは関係ない使用（LINE、メール等）については厳しく規制します。
	<p>評価</p> <p>(水) 授業態度、課題の清書（50%）、宿題（30%）の提出、クイズ&期末試験（20%）等から総合的にを行います。</p> <p>(金) 毎週の作文の課題(50%)と平常点30%(授業中の積極的な発言等)、期末試験（20%）で評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間、作文の授業で学んだことを活かして、日本語の文章力をどんどん高めていきましょう。 ・国に帰る人も、日本で次のステップへ進む人も、この授業で習ったことを忘れずに、常に相手が読みやすい日本語（ていねいな文字）で書けるように心がけてください。

科目基本情報	科目名 日本語総合演習 I	期別	曜日・時限	単位
	担当者 (月)-我那覇 隆史・(木)-山本 徳子	前期	月1・木1	2
		対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	syo@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学の授業や研究発表の場で、日本人学生に混ざって円滑に意見をまとめ、表現ができるような力を養成していくことを目標としています。新聞等の記事やグラフ等を読み、まとめて報告するという作業を重ねながら、レジュメ作成や発表の仕方の基礎作りを行います。その後、アンケート調査、インタビュー調査、文献調査等の実践を通して、調査方法、資料収集、結果のまとめ方を学びます。	メッセージ CALL教室を使用して、レジュメを作成したり、P Pで発表したりします。機器を利用した日本語の授業を楽しんでいきましょう。
	到達目標 ・グラフや表を読み取り、説明や感想を述べるができる。・新聞記事を読み、要約や感想を書くことができる。・アンケート調査の方法や手順を学び、調査票の作成、調査結果のグラフ化(エクセル使用)、発表ができるようになる。・CALL教室の機器を上手に利用できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	月1: 講義概要説明、第1課 自己紹介で好印象を与えよう	好印象を与える自己紹介を考える
	2	木1: 1. 食文化<はじめに>	自国の食文化について調べる
	3	月2: 1. 食文化<情報1: グラフ>	グラフの説明
	4	木2: 1. 食文化<情報1: グラフ>	グラフの説明
	5	月3: 1. 食文化 グラフの説明(発表)	発表の準備
	6	木3: 1. 食文化<文章表現>	短文作成
	7	月4: 1. 食文化<文章表現>短文作成の発表	発表の準備
	8	木4: 1. 食文化<語彙>	語彙の意味を調べる
	9	月5: 1. 食文化<情報2: 読み物>	<読み物>予習
	10	木5: 1. 食文化<情報2: 読み物>要約	(清書) 要約
	11	月6: 1. 食文化<情報2: 読み物>要約の発表及びディスカッション	発表の準備
	12	木6: 1. 食文化<新聞記事>	新聞記事を読む
	13	月7: 1. 食文化<新聞記事>レジュメ作成(要約・キーワード・感想等)	新聞記事のレジュメ作成
	14	木7: 1. 食文化<新聞記事>レジュメの発表及びディスカッション	発表の準備
	15	月8: 1. 食文化<アンケート調査>	アンケート調査の計画
	16	木8: 1. 食文化<アンケート調査>調査票作成・実施	調査票の作成
	17	月9: 1. 食文化<アンケート調査>結果考察・グラフ作成・発表準備	発表の準備
	18	木9: 1. 食文化<アンケート調査>プレゼンテーション及びディスカッション	発表の練習
	19	月10: 2. 仕事<はじめに>	自国の仕事や就職について調べる
	20	木10: 2. 仕事<情報1: グラフ>	グラフの説明
	21	月11: 2. 仕事 グラフの説明(発表)	発表の準備
	22	木11: 2. 仕事<文章表現>	短文作成
	23	月12: 2. 仕事<文章表現>短文作成の発表	発表の準備
	24	木12: 2. 仕事<語彙>	語彙の意味を調べる
	25	月13: 2. 仕事<情報2: 読み物>要約	<読み物>予習
	26	木13: 2. 仕事<情報2: 読み物>要約の発表及びディスカッション	(清書) 要約
	27	月14: 2. 仕事<新聞記事>	新聞記事を読む
	28	木14: 2. 仕事<新聞記事>レジュメ作成	新聞記事のレジュメ作成
	29	月15: 2. 仕事<新聞記事>レジュメの発表及びディスカッション	発表の準備
	30	木15: 総まとめ	復習・期末テストの勉強
31	月16: 期末試験	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『改訂版 トピックによる日本語総合演習・テーマ探しから発表へ 上級』スリーエーネットワーク 『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク 『日本語超級話者へのかけはし』スリーエーネットワーク 『アカデミック プレゼンテーション入門』ひつじ書房 『留学生のための大学の授業へのパスポート』凡人社 『知へのステップ』学習技術研究会</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事には、たくさんの漢字が使用されています。予習・復習は欠かさず行ってください。 ・さまざまなテーマの読み物を読んでいきます。自国との相違点と類似点を考え、意見が述べられるようにしましょう。 ・学んだことを教室外で使用する機会を多用し、日本人の学生との交流も盛んに行いましょう。 ・毎回出席して授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず連絡してください。
	<p>評価</p> <p>総合的に評価します。 授業態度や参加度（20%）、課題、レポート（20%）、発表（30%）、期末試験（30%）。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>日本語総合演習で学んだことを学部の授業に活かし、日本人学生に混じって簡潔に意見を述べ、円滑に発表ができるようにしましょう。日本語能力試験（JLPT）のN1レベルにも挑戦し、日本語の四技能をバランスよく伸ばしましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語総合演習Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(月)-我那覇 隆史・(木)-山本 徳子	1年	ptt805@okiu.ac.jp (山本：木曜担当) ptt1340@okiu.ac.jp (我那覇：月曜担当)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続いて、様々なテーマの新聞記事やグラフ等を読み、レジュメ作成や発表の仕方を確立していきます。そして、アンケート調査、インタビュー調査、文献調査等の実践を通し、調査方法、資料収集、結果のまとめ方や発表の構成等の論理的な展開の方法、アウトラインの作り方、意見の述べ方、フィードバックの仕方等を更に学習していきます。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表を読み取り、説明や感想を述べるができる。 ・さまざまなテーマの新聞記事を読み、要約や感想を書くことができる。 ・インタビュー調査の方法や手順を学ぶことにより、インタビューの内容を考え実施し、その後、結果をまとめ、考察し、発表できるようになる。 ・CALL教室の機器を上手に利用できるようになる。 	<p>自国・自分自身のことについて、他国との比較を通して意識的に捉えなおし、日本語で表現できるようになりましょう。機器を効果的に利用し、日本語の授業に活かせるようにしましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	月1：講義概要説明、3.生活習慣と宗教<はじめに>	自国の宗教について調べる
	2	木1：3.生活習慣と宗教<情報1：グラフ>	グラフの説明
	3	月2：3.生活習慣と宗教<情報1：グラフ> グラフの説明（発表）	発表の準備
	4	木2：3.生活習慣と宗教<文章表現>	短文作成
	5	月3：3.生活習慣と宗教<文章表現> 短文作成の発表	発表の準備
	6	木3：3.生活習慣と宗教<語彙>	語彙の意味を調べる
	7	月4：3.生活習慣と宗教<情報2：読み物>	<読み物>予習
	8	木4：3.生活習慣と宗教<情報2：読み物> 要約	要約（清書）
	9	月5：3.生活習慣と宗教<情報2：読み物> 要約の発表およびディスカッション	発表の準備
	10	木5：3.生活習慣と宗教<新聞記事>	新聞記事を読む
	11	月6：3.生活習慣と宗教<新聞記事> レジュメ作成（要約・キーワード・感想等）	レジュメ作成
	12	木6：3.生活習慣と宗教<新聞記事> レジュメ発表およびディスカッション	発表の準備
	13	月7：第4課 町の様子を話そう	自分の町について調べる
	14	木7：第4課 町の様子を話そう PPTを使用してプレゼンテーション	発表の準備
	15	月8：4.リサイクル<はじめに>	自国のリサイクルについて調べる
	16	木8：4.リサイクル<情報1：グラフ> グラフの説明（発表）	グラフの説明
	17	月9：4.リサイクル<文章表現>	短文作成
	18	木9：4.リサイクル<文章表現> 短文作成の発表、<語彙>	語彙の意味を調べる
	19	月10：4.リサイクル<情報2：読み物>	<読み物>予習
	20	木10：4.リサイクル<新聞記事>	新聞記事を読む
	21	月11：4.リサイクル<新聞記事> レジュメ作成	レジュメ作成
	22	木11：4.リサイクル<新聞記事> レジュメ発表およびディスカッション	自国のジェンダーについて調べる
	23	月12：5.ジェンダー<はじめに>	グラフの説明
	24	木12：5.ジェンダー<情報1：グラフ> グラフの説明（発表）	発表の準備
	25	月13：5.ジェンダー<文章表現>	短文作成
	26	木13：5.ジェンダー<情報2：読み物>	<読み物>予習
	27	月14：5.ジェンダー<新聞記事>	新聞記事を読む
	28	木14：5.ジェンダー<新聞記事> レジュメ作成	レジュメ作成
	29	月15：5.ジェンダー<新聞記事> レジュメ作成およびディスカッション	発表の準備
30	木15：総まとめ	試験勉強	
31	月16：期末試験	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『改訂版 トピックによる日本語総合演習・テーマ探しから発表へ 上級』スリーエーネットワーク 『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク 『日本語超級話者へのかけはし』スリーエーネットワーク 『アカデミック プレゼンテーション入門』ひつじ書房 『留学生のための大学の授業へのパスポート』凡人社 『知へのステップ』学習技術研究会</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事には、たくさんの漢字が使用されています。予習・復習は欠かさず行ってください。 ・さまざまなテーマの読み物を読んでいきます。 ・自国との相違点と類似点を考え、意見が述べられるようにしましょう。 ・学んだことを教室外で使用する機会を多用し、日本人の学生との交流も盛んに行いましょう。 ・情報収集のために、アンテナをはり、多くのことに興味を持ちましょう。 ・毎回出席して授業に臨むことが前提ですが、やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず連絡してください。 ・学習の進捗状況によって、授業計画が変更されることがあります。
	<p>評価</p> <p>総合的に評価しますが、平常点（出席率・授業態度・発表の準備・授業への参加度など）を重視します。 授業態度や参加度（20%）、課題・レポート（20%）、発表（30%）、期末試験（30%）。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>今後もさまざまな話題に興味を持ち、現代日本の事情、自国のこと、自分の意見を日本語で上手に発信できるように、どんどん磨きをかけてください。</p>

※ポリシーとの関連性 アカデミック・ライティングを集中的に学ぶ。練習問題に重点を置く。また、短い時間で意見や思いを伝える練習をする。

[外国人日本語上級/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語表現 I	前期	火 4	1
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-我那覇 隆史	1年	ptt1340@okiu.ac.jp Emailにて随時受け付けます。	

学びの準備	ねらい 論理的な思考をみにつけ、論理的な文章の展開方法を知り、それを意識して文章構成を考えられるようになることをねらいとする。以上のことから、学部での他の講義で発表できる力を育成し、アカデミック力をあげることを目標に日本語力の向上をめざす。	メッセージ 論文、レポートを書く場合に、留学生が注意しなければならない項目を重点的に学ぶ。学んだことを使って課題を書くことで日本語力（アカデミックライティング力）の向上を目指すので、積極的に講義に参加しようとする学生を歓迎する。
	到達目標 ①論理的な思考をみにつける。②口頭で要約を発表することができる。③論理的な文章の展開方法を知り、それを意識して文章構成を考えられるようになる④気持ちを伝える日本語に気付ける。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業の進め方 アカデミック・ライティングとは	シラバス配布 自己紹介文
	2	論文の文体	「だ・である体」の作り方
	3	レポートの文体（1）書き言葉	文の書き換え練習
	4	レポートの文体（2）「だ・である体」	文末表現書き換え問題
	5	文の基本（1）自動詞や受身形を使った文	練習問題（自動詞を使った文）
	6	文の基本（2）自動詞や受身形を使った文	練習問題（受け身形を使った文）
	7	言葉に気持ちをこめる	「今一番きたいところ」文章化
	8	接続詞を使おう（1）	接続詞の使い分けを知る
9	接続詞を使おう（2）	適切な接続詞を考える、練習問題	
10	ねじれ文/首尾一貫(しゅびいっかん)した文（1）	ねじれ文とは	
11	ねじれ文/首尾一貫(しゅびいっかん)した文（2）	首尾一貫した文に書き換え練習	
12	レポートを書いてみよう	文体、接続詞、首尾一貫した文	
13	音声劇に挑戦（1）	気持ちを込めた表現	
14	音声劇に挑戦（2）	アニメの話し方を知る	
15	感謝を伝える方法	感謝文の練習	
16	期末レポート	レポート	
実践	テキスト・参考文献・資料など 講義時に資料、問題プリントを配布する。		
	学びの手立て 配布資料を読み、分からない言葉の意味を調べておきましょう。クラスでは話す、書くなど積極的に活動に取り組み、日本語力をあげるようにしましょう。毎回の課題の提出が大切です。ポータルでのクラス連絡を読み、配布資料等を受け取ってください。		
	評価 総合的に判断します。 課題の提出（40%）、ペアワーク、ディスカッションおよび発表（30%）、文章化力（30%）		

学びの継続	次のステージ・関連科目 学部の授業を日本人とともに受講するときに困らないよう、日本語力に磨きをかけ続けてほしいです。
-------	---

※ポリシーとの関連性 レポートの書き方を学びます。練習問題を解き、書く力をあげます。また、インタビューの仕方、若者言葉について学び発表します。

[外国人日本語上級/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語表現Ⅱ	後期	火4	1
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-我那覇 隆史	1年	最初の講義時にお知らせします	

学びの準備	ねらい 日本語でインタビューができ、若者言葉について知り、発表力を上げます。そして、レポートが楽しく書けるようになることを目指します	メッセージ レポートを書く時に注意すべき表現や文章の組み立て方を練習問題を通して学びます。その知識をもとに課題に取り組み、レポートを書く力をあげていきます。同時に日本語での表現力を磨きます。留学生のみのクラスです。レポートを書く時に迷う表現や思考方法など話し合いながら力をつけていきましょう。
	到達目標 ・どのような日本語で表現しているのかに興味を持ち、分析することで日本語で伝える力を身につけます。 ・論理的な文章の展開方法(てんかいほうほう)を知り、それを意識して文章構成(ぶんしょうこうせい)を考えられるようになります。 ・意見を述べ、3段落のレポートが書けるようになります。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業の進め方 級友について知る	シラバス配布 授業の流れを知る
	2	文の基本 レポートを書くときに必要な文の総復習	「書き言葉」と「話し言葉」
	3	インタビューゲームで相手を知る	聞くことの大切さを知る
	4	段落に分ける(1)	3段落で書くために
	5	段落に分ける(2)理由をのべる	理由を示して書く
	6	段落に分ける(3)経過をのべる	はじめ に/て/は
	7	ポスター作り(1)	意見をポスターにする
	8	ポスターを使って発表(2)	発表の表現を知る
9	判明していること・問題点を述べる	〜に基づいて/〜によれば	
10	解決策をのべる	そこで/そのため/したがって	
11	3段落で書いてみよう	問題点・理由の考察・意見	
12	若者言葉(1)	若者言葉に興味を持つ	
13	若者言葉(2)	気になる若者言葉を調べる	
14	書道体験	書体を知る	
15	レポートの作成	序論・本論・結論の組み立て方	
16	期末レポート作成	まとめ	
実践	テキスト・参考文献・資料など 自主制作プリントを使用しますので、教科書の購入の必要はありません。		
	学びの手立て 小論文を書くために必要なことを学び、練習問題で力をつけます。毎回、アイスブレイキングとして、日本語で話すこと、グループの他のメンバーの意見を聞くことにより、日本語の発表力をきたえます。クラス内で練習問題に取り組み、日本語で書く力をあげていきますので、出席が重要になります。		
	評価 総合的に判断します。 講義への参加度(30%)、発表・課題(40%)、期末レポート(30%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 意見を述べ、小論文の書き方を学び、発表をすることで、日本語力を伸ばし、学部のたのクラスで活躍できる自信を培ってもらいたい。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語文法 I	前期	水2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)-元山由美子・(金)-知念啓子	1年	授業終了後に受け付けます	

学びの準備	ねらい この授業では、読解、文法、会話、聴解の基礎的能力を高め、さらに大学での勉学に必要な日本語能力の向上に努めます。	メッセージ 教室での授業のときはマスクをつけて、隣の人と距離をあけて座ってください。 文法は「聞く・話す・読む・書く」の基礎となるものである。実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているかを知り、使えるようにしっかり練習しましょう。
	到達目標 ①体験したことや考えたことが表現できる。 ②何かを紹介したり、自分との関係を説明したりすることができる。 ③お知らせなどの掲示物を見て、内容が理解できる。 ④あるテーマについて発表ができ、自分の意見が言える。 ⑤ていねいな表現を理解し、受け答えができる。 ⑥相手の位置関係、使用場面にふさわしい日本語が使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読み授業に備える
	2	初中級の復習(1)	語彙を調べておくこと
	3	初中級の復習(2)	語彙を調べておくこと
	4	初中級の復習(3)	語彙を調べておくこと
	5	初中級の復習(4)	語彙を調べておくこと
	6	1 スタッフ募集のお知らせ ①	語彙を調べておくこと
	7	1 スタッフ募集のお知らせ ②	語彙を調べておくこと
	8	まとめの問題	復習をしておくこと
	9	2 転任のあいさつ(1)	語彙を調べておくこと
	10	2 転任のあいさつ(1)	語彙を調べておくこと
	11	2 転任のあいさつ(2)	語彙を調べておくこと
	12	2 転任のあいさつ(2)	語彙を調べておくこと
	13	まとめ問題	復習をしておくこと
	14	3 ホテルの仕事①	語彙を調べておくこと
	15	3 ホテルの仕事②	語彙を調べておくこと
	16	3 ホテルの仕事③	語彙を調べておくこと
	17	まとめの問題	復習をしておくこと
	18	4 台風情報①	語彙を調べておくこと
	19	4 台風情報②	語彙を調べておくこと
	20	まとめ問題	復習をしておくこと
	21	5 就職活動(1)	語彙を調べておくこと
	22	5 就職活動(1)	語彙を調べておくこと
	23	5 就職活動(2)	語彙を調べておくこと
	24	5 就職活動(2)	語彙を調べておくこと
	25	まとめ問題	復習をしておくこと
	26	6 苦勞した5年間(1)	語彙を調べておくこと
	27	6 苦勞した5年間(1)	語彙を調べておくこと
	28	6 苦勞した5年間(2)	語彙を調べておくこと
	29	6 苦勞した5年間(2)	語彙を調べておくこと
30	まとめ問題	復習をしておくこと	
31	期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』アスク出版 ・そのほかの資料（練習問題や模擬試験）はプリントを配布します。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>以下の学生が対象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語初級文法の学習を終了した人。 ・日常生活レベルの簡単なディスカッションが日本語でできる人。 ・ある程度の漢字が読め、知らない漢字を自分で調べることができる人。 ・授業に積極的に参加する意欲のある人。 <p><履修の心構え> 語彙がすぐに調べられるように辞書を持ってきてください。</p>
	<p>評価</p> <p>各課のクイズ・・・30%（毎課終了時の復習クイズ） 定期テスト・・・50%（期末試験を実施し、習熟度を測る） 平常点・・・20%（予習の有無、提出物、授業への参加度）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>学んだ文法をきちんと整理して、中級レベルの基礎を固めましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語文法Ⅱ	後期	水2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(水)-元山由美子・(金)-知念啓子	1年	授業終了後に受け付けます	

学びの準備	ねらい この授業では、読解、文法、会話、聴解の基礎的能力を高め、さらに大学での勉学に必要な日本語能力の向上に努めます。	メッセージ 会話やスピーチ、読解の中で使われている文法項目が自然になじむよう、さまざまな場面での使い方を練習します。さらに、日本語能力試験N2、N1合格を目指すとともに、日本語を使って楽しく自分の言いたいことが言えるようにしっかり勉強しましょう。
	到達目標 ①体験したことや考えたことが表現できる。 ②何かを紹介したり、自分との関係を説明したりすることができる。 ③お知らせなどの掲示物を見て、内容が理解できる。 ④あるテーマについて発表ができ、自分の意見が言える。 ⑤ていねいな表現を理解し、受け答えができる。 ⑥相手の位置関係、使用場面にふさわしい日本語が使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習①	シラバスを読み、授業に備える
	2	前期の復習②	語彙を調べておくこと
	3	7 オオカミと生態系(1)	語彙を調べておくこと
	4	7 オオカミと生態系(1)	語彙を調べておくこと
	5	7 オオカミと生態系(2)	語彙を調べておくこと
	6	7 オオカミと生態系(2)	語彙を調べておくこと
	7	まとめの問題	復習をしておくこと
	8	8 取引先で①	語彙を調べておくこと
	9	8 取引先で②	語彙を調べておくこと
	10	まとめの問題	復習をしておくこと
	11	9 食べ放題(1)	語彙を調べておくこと
	12	9 食べ放題(1)	語彙を調べておくこと
	13	9 食べ放題(2)	語彙を調べておくこと
	14	9 食べ放題(2)	語彙を調べておくこと
	15	まとめ問題	復習をしておくこと
	16	10 満員電車(1)	語彙を調べておくこと
	17	10 満員電車(1)	語彙を調べておくこと
	18	10 満員電車(2)	語彙を調べておくこと
	19	10 満員電車(2)	語彙を調べておくこと
	20	11 ラーメンの紹介①	語彙を調べておくこと
	21	11 ラーメンの紹介②	語彙を調べておくこと
	22	まとめの問題	復習をしておくこと
	23	12 ウォーキングシューズの開発(1)	語彙を調べておくこと
	24	12 ウォーキングシューズの開発(2)	語彙を調べておくこと
	25	13 人生の転機(1)	語彙を調べておくこと
	26	13 人生の転機(2)	語彙を調べておくこと
	27	まとめ問題	復習をしておくこと
	28	14 オリンピックの開催について①	語彙を調べておくこと
	29	14 オリンピックの開催について②	語彙を調べておくこと
30	まとめの問題	復習をしておくこと	
31	期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』アスク出版 ・そのほかの資料（練習問題や模擬試験）はプリントを配布します。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p><履修の心構え> 語彙がすぐに調べられるように辞書を持ってきてください。</p> <p><学びを深めるために> 毎回、しっかり予習・復習をしましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>各課のクイズ・・・30%（毎課終了時の復習クイズ） 定期テスト・・・50%（期末試験を実施し、習熟度を測る） 平常点・・・20%（予習の有無、提出物、授業への参加度）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>学んだ文法をきちんと整理して、中級レベルの基礎を固めましょう。</p>

※ポリシーとの関連性

日本語の表現についての理解を深めることにより、より高度で正確な日本語の運用能力を身につける。

[外国人日本語上級/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語文法Ⅲ	前期	水4	1
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-元山 由美子	1年	E-mail:yumimoto3@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	日本語能力試験N2レベルの機能語の復習を行い、それらの表現に関連する日本語能力試験N1レベルの機能語の意味・用法を理解し、使用できるようになる。	課題はポータルで確認してください。対面授業の際は、マスクをつけて、隣の人との距離をあけて座ってください。 講義で学んだ内容を復習し、時間内にできなかった課題はつぎの授業までに完成させましょう。学期終了後には必ず上達し、努力しただけ達成感が味わえると思います。クラスメートと共にがんばりましょう。
到達目標	日本語能力試験N2、N1レベルの学習項目の定着を図り、それを利用して様々な課題を遂行する力を身につけることを目標とする。具体的には、①学習した語彙・漢字・表現・文型をもとに、まとまった内容が読むことができる。②実際のコミュニケーションの中で、学んだ表現がどのように使われているかを知り、使うことができる。③発話や作文などの自己表現に応用できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、自己紹介文	シラバスを読み、授業に備える
	2	日本語能力試験N2の問題（文字・語彙）	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	3	日本語能力試験N2の問題（読解）	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	4	第1課パート1 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	5	第1課パート1 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	6	第1課パート1 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	7	第1課パート1 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
8	第1課パート1 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
9	まとめ問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
10	第1課パート2 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
11	第1課パート2 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
12	第1課パート2 N1、N1語彙問題	復習をしておくこと	
13	第1課パート2 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
14	第1課パート2 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
15	まとめ問題	復習をしておくこと	
16	期末テスト	授業の振り返り	
テキスト・参考文献・資料など	<p>テキスト：教師作成教材</p> <p>参考文献：『日本語能力試験完全攻略問題集上級1級の文法改訂版』語文研究社 『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク出版 その他必要に応じて、授業中に指示する場合もある。</p>		
学びの手立て	<p><履修の心構え> 言葉を調べるため辞書を持ってきてください。 <学びを深めるために> 表現・文型は習うだけでは使えるようになりません。習った表現がどのように使われているか、様々な方法を駆使して使えるようになるための練習をしましょう。</p>		
評価	提出物10%、定期テスト60%（期末テスト）、平常点30%（予習・復習の有無、授業への参加度）		

学びの継続	次のステージ・関連科目
	大学で求められる日本語能力をしっかりと身につけるために、論文作成やプレゼンテーションなど、さらなる日本語の応用的・実践的な伝達力を修得しよう。

※ポリシーとの関連性

日本語の表現についての理解を深めることにより、より高度で正確な日本語の運用能力を身につける。

[外国人日本語上級/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本語文法Ⅳ	後期	水 4	1
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-元山 由美子	1年	E-mail:yumimoto3@gmail.com	

学びの準備	ねらい 日本語能力試験N2レベルの機能語の復習を行い、それらの表現に関連する日本語能力試験N1レベルの機能語の意味・用法を理解し、使用できるようになる。	メッセージ 第1回と8回の対面授業の際に、授業で使用するプリントを配りません。マスクを必ず着用してください。 オンラインではZoomを使用するので、パソコンの準備をしておいてください。 課題は、メールに提出してください。
	到達目標 日本語能力試験N2、N1レベルの学習項目の定着を図り、それを利用して様々な課題を遂行する力を身につけることを目標とする。具体的には、①学習した語彙・漢字・表現・文型をもとに、まとまった内容が読むことができる。②実際のコミュニケーションの中で、学んだ表現がどのように使われているかを知り、使うことができる。③発話や作文などの自己表現に応用できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスを読み、授業の準備をする
	2	日本語能力試験N1（語彙・文字）	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	3	日本語能力試験N1（読解）	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	4	第2課 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	5	第2課 N2とN1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	6	第2課 N1、N1語彙問題	復習をしておくこと
	7	まとめ問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
	8	第3課パート1 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと
9	第3課パート1 N2とN1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
10	第3課パート1 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
11	まとめ問題	復習をしておくこと	
12	第3課パート2 N2、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
13	第3課パート2 N2とN1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
14	第3課パート2 N1、N1語彙問題	漢字の読みや語彙を調べておくこと	
15	まとめ問題	復習をしておくこと	
16	期末テスト	授業の振り返り	
	テキスト・参考文献・資料など テキスト：教師作成教材 参考文献：『日本語能力試験完全攻略問題集上級1級の文法改訂版』語文研究社 『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク出版 その他必要に応じて紹介する。		
	学びの手立て <履修の心構え> 言葉の意味や使い方を事前に調べておきます <学びを深めるために> 表現・文型は習うだけでは使えるようになりません。習った表現がどのように使われているか、様々な方法を駆使して使えるようになるための練習をしましょう。		
	評価 提出物10%、定期テスト60%（中間/期末テスト）、平常点30%（予習・復習の有無、授業への参加度）		

学びの継続	次のステージ・関連科目 大学で求められる日本語能力をしっかりと身につけるために、論文作成やプレゼンテーションなど、さらなる日本語の応用的・実践的な伝達力を修得しよう。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本事情 I	前期	火2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-知念啓子・(木)-山本徳子	1年	授業終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>火)他文化(沖縄)と自文化の類似点・相違点・疑問等を日本語で表現し、他者と意見交換しながら、思考を深める。</p> <p>木)日本の現状(芸能、歴史、教育、政治、スポーツ等)を知り、自国のものとの違い(良い面、悪い面)について考え、意見・感想を言うことができる。併せて、長い文を読んで理解する。</p>	<p>火)沖縄に住んでいて、感じる「どうして」という疑問を皆で共有し、話し合います。</p> <p>木)日本の今の様子について、ビデオを見たり文を読んだりして新しい情報を得ましょう。(たとえば、食べ物、自然、ポップカルチャー、コンビニエンスストア、自動販売機など)</p>
到達目標		
	<p>火)①沖縄に住む中で生じる疑問・意見を、日本語で、他者が理解できるよう表現することができる</p> <p>②「沖縄」「世界」が抱える課題について他者と日本語でやりとりし、思考を深めることができる。</p> <p>木)①日本語で自分の感想や意見を言う事ができるようになる。</p> <p>②日本の現状(文化や今流行しているものなど)について他の人に説明ができるようになる。</p> <p>③難しいことばの説明を易しい(自分の知っている)日本語でできるようになる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	火①沖縄事情：ガイダンス、事項紹介	シラバスを読む
	2	火②沖縄事情：地理	学びの振り返り
	3	火③沖縄事情：気候	学びの振り返り
	4	火④沖縄事情：動物・植物	学びの振り返り
	5	火⑤沖縄事情：食文化	学びの振り返り
	6	火⑥沖縄事情：観光	学びの振り返り
	7	火⑦沖縄事情：社会	学びの振り返り
	8	火⑧沖縄事情：宗教	学びの振り返り
	9	火⑨沖縄事情：祭りと年中行事	学びの振り返り
	10	火⑩沖縄事情：沖縄の社会問題	学びの振り返り
	11	火⑪沖縄事情：沖縄の社会問題	学びの振り返り
	12	火⑫沖縄事情：グループ発表準備	学びの振り返り
	13	火⑬沖縄事情：グループ発表準備	グループ発表準備
	14	火⑭沖縄事情：グループ発表準備	グループ発表準備
	15	火⑮沖縄事情：発表	レポート作成
	16	木①ガイダンスと教科書の説明、日本の年中行事【私の国の名所、名物】	シラバス、受講上の注意を読む
	17	木②1課「日本の地理」 姫路城、道後温泉 【私の国の祭り】	予習(語彙)
	18	木③1課「日本の地理」 行事、祭り【ロボットについて】	復習(ことばの使い方)
	19	木④3課「日本のテクノロジー」 人とロボット	予習(語彙)
	20	木⑤3課 テクノロジーの発達、外来語【私の考え(スポーツ)】	復習(ことばの使い方)
	21	木⑥4課「日本のスポーツ」	予習(語彙)
	22	木⑦4課 日本の武道、心・技・体 【私の国の食べ物】	復習(ことばの使い方)
	23	木⑧5課「日本の食べ物」種類、特徴	予習(語彙)
	24	木⑨5課 インスタントラーメン 【私の国の宗教的行事・習慣】	復習(ことばの使い方)
	25	木⑩6課「日本人と宗教」生活と宗教、神話	予習(語彙)
	26	木⑪6課「日本人と宗教」宗教的習慣、行事	復習(ことばの使い方)
	27	木⑫7課 手塚治虫 【好きなポップカルチャーは?】	予習(語彙)
	28	木⑬7課 「日本のポップカルチャー」オノマトペ、連濁	復習(ことばの使い方)
	29	木⑭8課「日本の伝統芸能」能、狂言、歌舞伎、文楽【自国の芸能】	予習(語彙)
30	木⑮8課 狂言と笑い	復習(ことばの使い方)	
31	火⑯振り返り・まとめ 期末レポート提出 木⑰期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火) 主に使用するものは教員の作成したプリント 参考テキスト：『おきなわ事情 Doorways to Okinawa』沖縄国際大学語学教育教材開発研究会</p> <p>木) テキスト：『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語上級へのとびら』くろしお出版</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>火) 沖縄で生活する中で出てきた疑問を大切にしましょう。その疑問を授業で皆に共有し、積極的に意見交換をしましょう。</p> <p>木) 予習をして語彙の意味を知って受講し、授業に積極的に参加する。 (授業内での発言はよく考えて建設的なものを心がける。発表の準備はきちんと自分自身です。)</p>
	<p>評価</p> <p>火) グループワーク・発表30%、授業参加度30%、提出物20%、最終レポート20%</p> <p>木) 期末試験30%、課題・タスクへの取り組み20%、教室活動30%、提出物20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>火) (1) 日本事情Ⅱ (2) 共通科目の沖縄科目群</p> <p>木) (1) 上級クラスの「日本語文法Ⅰ、Ⅱ」「日本語総合演習Ⅰ、Ⅱ」 (2) 日本で大学に入学する、就職できる学力、知識を身につけて進学、就職してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	日本事情Ⅱ	後期	火2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	(火)-知念 啓子・(木)-山本 徳子	1年	授業終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>火)他文化(沖縄)と自文化の類似点・相違点・疑問等を日本語で表現し、他者と意見交換しながら、思考を深める。</p> <p>木)日本の現状(芸能、歴史、教育、政治、スポーツ等)を知り、自国のものとの違い(良い面、悪い面)について考え、意見・感想を言うことができる。併せて、長い文を読んで理解する。</p>	<p>火)沖縄に住んでいて感じる「どうして」という疑問を皆で共有し、話し合しましょう。</p> <p>木)日本の今の様子について、ビデオを見たり文を読んだりして新しい情報を得ましょう。(たとえば、食べ物、自然、ポップカルチャー、コンビニエンスストア、自動販売機など)</p>
到達目標	火)①沖縄に住む中で生じる疑問・意見を、日本語で、他者が理解できるよう表現することができる ②「沖縄」「世界」が抱える課題について他者と日本語でやりとりし、思考を深めることができる。	
	木)①日本語で自分の感想や意見を言う事ができるようになる。 ②日本の現状(文化や今流行しているものなど)について他の人に説明ができるようになる。 ③難しいことばの説明を易しい(自分の知っている)日本語でできるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	火①沖縄事情：ガイドダンス	シラバスを読む
	2	火②沖縄事情：長寿社会	学びの振り返り
	3	火③沖縄事情：民話	学びの振り返り
	4	火④沖縄事情：芸能	学びの振り返り
	5	火⑤沖縄事情：ウチナーグチ	学びの振り返り
	6	火⑥沖縄事情：ウチナーヤマトグチ	学びの振り返り
	7	火⑦沖縄事情：世界のウチナーンチュ	学びの振り返り
	8	火⑧沖縄事情：沖縄と世界が抱える課題	復習／発表の準備
	9	火⑨沖縄事情：沖縄と世界が抱える課題	復習／発表の準備
	10	火⑩沖縄事情：グループ発表準備	復習／発表の準備
	11	火⑪沖縄事情：グループ発表準備	復習／発表の準備
	12	火⑫沖縄事情：グループ発表準備	復習／発表の準備
	13	火⑬沖縄事情：グループ発表準備	発表の準備、レポート作成準備
	14	火⑭沖縄事情：グループ発表	発表の準備レポート作成
	15	火⑮沖縄事情：グループ発表	レポート作成
	16	木①9課「日本の教育」読み物「日本の教育の現状」	シラバス、受講上の注意を読む
	17	木②9課「日本の教育」意見を交わす	予習(語彙)
	18	木③9課 読み物の文法、日本の昔話	復習(ことばの使い方)
	19	木④10課「日本の便利な店」コンビニ、便利さと問題点	予習(語彙)
	20	木⑤10課「日本の便利な店」自動販売機 大國ニッポン	復習(ことばの使い方)
	21	木⑥11課「日本の歴史」読み物「日本の輸入の歴史」	予習(語彙)
	22	木⑦11課「日本の歴史」会話文：過去の出来事について話す	復習(ことばの使い方)
	23	木⑧12課「日本の伝統工芸」「和紙からのメッセージ」	予習(語彙)
	24	木⑨12課「ものの作り方を紹介する」	復習(ことばの使い方)
	25	木⑩13課「日本人と自然」読み物「俳句：世界一短い詩」	予習(語彙)
	26	木⑪13課「日本人と自然」読み物「私と自然」	復習(ことばの使い方)
	27	木⑫14課「日本の政治」読み物「政治家になるための条件」	予習(語彙)
	28	木⑬14課「日本の政治」会話文「選挙について」討論	復習(ことばの使い方)
	29	木⑭15課 読み物「世界がもしも100人の村だったら」	予習(語彙)
30	木⑮15課「世界と私の国の未来」マータイ	復習(ことばの使い方)	
31	木⑯振り返り・まとめ 期末レポート提出木⑰期末テスト	授業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>火) 主に教員作成のプリントを使用します。 参考テキスト：『おきなわ事情』沖縄国際大学語学教育教材開発研究会</p> <p>木) テキスト：『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語上級へのとびら』くろしお出版</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>火) 普段の生活の中で疑問に思っていることは忘れずに書き留めておき、授業で皆と疑問について意見交換しましょう。</p> <p>木) 予習をして語彙の意味を知って受講し、授業に積極的に参加する。 (授業内での発言はよく考えて建設的なものを心がける。発表の準備はきちんと自分自身です。)</p>
	<p>評価</p> <p>火) グループワーク・発表30%、授業参加度30%、提出物20%、最終レポート20%</p> <p>木) 期末試験30%、課題・タスクへの取り組み20%、教室活動30%、提出物20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>火) (1) 共通科目の沖縄科目群</p> <p>木) (1) 上級クラスの「日本語文法Ⅰ、Ⅱ」「日本語総合演習Ⅰ、Ⅱ」 (2) 日本で大学に入学する、就職できる学力、知識を身につけて進学、就職してほしい。</p>